

科目名	人文学講読演習Ⅱ 4-2					単位	2.0
担当教員	石川 洋子						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	4220

●授業のテーマ

『土左日記』を講読することを通して、国語学的に読むと言うことを学ぶ。

●到達目標

『土左日記』を読み味わいつつ、平安時代のことばについて理解を深める。また、平安時代の基礎知識を身につける。

●学習内容(授業概要)

前期に引き続き、『土左日記』の音韻・文字・文体・語彙・文法・語法等について研究する。併せて、平安時代語についての基礎知識を習得する。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 『土左日記』講読。(1) 承平5年1月18日～1月19日
2. 『土左日記』講読。(2) 承平5年1月20日
3. 『土左日記』講読。(3) 承平5年1月21日～1月22日
4. 『土左日記』講読。(4) 承平5年1月23日～1月26日
5. 『土左日記』講読。(5) 承平5年1月27日～1月29日
6. 『土左日記』講読。(6) 承平5年1月30日～2月1日
7. 『土左日記』講読。(7) 承平5年2月2日～2月4日
8. 『土左日記』講読。(8) 承平5年2月5日
9. 『土左日記』講読。(9) 承平5年2月5日～2月6日
10. 『土左日記』講読。(10) 承平5年2月7日～2月8日
11. 『土左日記』講読。(11) 承平5年2月9日
12. 『土左日記』講読。(12) 承平5年2月10日～2月15日
13. 『土左日記』講読。(13) 承平5年2月16日
14. 『土左日記』講読。(14) 承平5年2月16日
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習は、予習(テキストの下読み)をして出席することを要する。

事後学習は、毎回の学習の要点をまとめておく。

●成績評価方法・基準

学期末試験 60%、平常点 40%

●テキスト(必携)

≪No.1.≫書籍名：影印本 土左日記（新訂版）、著者名：萩谷 朴編、出版社：新典社、販売先：(株)Do

●参考文献／その他  
講義時に指示する。

●履修上の注意

受講生は、前期の「人文学講読演習Ⅰ 4－2」を履修すること。後期の「人文学講読演習Ⅱ 4－2」のみの履修は認めない。